

2023年6月29日

各位

会社名 株式会社ソフィアホールディングス
代表者名 代表取締役社長 飯塚 秀毅
(コード番号 6942 東証スタンダード)
問い合わせ先 取締役 経営企画室長兼経営管理部
ゼネラルマネージャー 藤田 裕之
(TEL: 045-548-6205)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月24日時点において、東京証券取引所スタンダード市場の上場維持基準に向けた計画書を開示しております。2023年3月末時点における当該計画の進捗状況について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2023年3月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準の適合状況は、その推移を含め以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」については基準を満たしておりません。当社は、「流通株式時価総額」について2025年3月末までに上場維持基準に適合するために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況及びその推移	2021年6月末時点 (移行基準日)	908人	7,307単位	988百万円	26.6%
	2023年3月末時点	825人	7,307単位	482百万円	26.6%
上場維持基準		400人	2,000単位	1,000百万円	25%
計画書に記載の項目		—	—	○	—
計画期間		—	—	2025年3月期	—

※ 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価

(1) 事業成長による企業価値向上

- a) インターネット関連事業・通信事業・調剤薬局及びその周辺事業の3つの事業を有機的に結合したグループのシナジー効果を創出するために、「メタバースを利用した服薬指導（オンライン薬局）の実証実験」や「遠隔医療に関する群馬大学との共同研究」等に取り組みました。
- b) 営業活動を強化した等により、2023年3月期におけるインターネット関連事業の売上高や営業利益が増加しました。
- c) 一方、着信課金サービス事業から撤退したことにより、2023年3月期における通信事業の売上高や営業利益が減少しました。また、薬価改定や新型コロナウイルス感染症の発熱外来増加により処方箋単価が減少したことにより、2023年3月期における調剤薬局及びその周辺事業の売上高や営業利益が減少しました。
- d) 以上のように、グループ成長戦略やグループ重点施策の一部は進展しているものの、通信事業における問題の発生や調剤薬局及びその周辺事業における新型コロナウイルス感染症の影響により、企業価値の向上が計画よりも遅れることとなりました。

(2) IR活動の強化による株価上昇

- a) 第2四半期と通期の決算短信の発表と同時に「決算説明資料」を作成して、投資家の皆さまに企業業績の状況や事業の内容・トピックスをわかりやすく伝えることができるように努めました。
- b) 2023年3月期の通期連結業績予想については、業績予想修正の必要が生じた場合には、投資家の皆さまに、速やかに開示することに努めました。
- c) 以上により、2022年12月末に向けて当社の株価は下落しましたが、2023年1月以降徐々に上昇いたしました。

3. 上場維持基準の適合に向けた今後の課題と取り組み内容

【1】上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針

当社グループでは、インターネット関連事業・通信事業においては、「たえずお客様のニーズを先取りし、先進的なICTサービスを提供することで社会貢献をする」ことを目指すとともに、調剤薬局及びその周辺事業においては「調剤薬局を通して、地域に根差した明るい未来をサポートする」ことを目指しております。さらに、これら3つの事業を有機的に結合させてグループのシナジー効果を創出することで、企業価値の拡大を図ることを、中長期のグループ成長戦略としております。この成長戦略の実現においては、当社グループに関わるステークホルダーの皆さまからの信頼を獲得に結びつくスタンダード市場における上場の維持は欠かせないものと考えております。

当社は、「流通株式時価総額」についてのみ、上場維持基準を満たしておりませんので、「株価」の上昇に向け、「企業業績の向上」に向けた取り組みのほか、多くの投資家の皆さまの投資対象として選ばれるために内部統制やリスク管理の強化やIR活動の強化に向けた取り組みを推進してまいります。

【2】上場維持基準に適合していない項目の課題と取り組みについて

上記【1】に記載した基本方針のもと、以下のような課題に取り組んでいくことで、「流通株式時価総額」に関する上場維持基準に適合すること目指してまいります。

(1) 企業業績の向上のための取り組み

次のような取り組みを通じて、企業業績の向上を推進します。

① グループシナジーの追求

グループ各社が長年培ってきた ICT(情報通信技術)と医療周辺事業を有機的に結合させ医療・介護・調剤のオンライン化など ICT と医療を融合した高品質のソリューションを提供することに取り組むことで、診療・服薬における利便性の高いサービスの構築、事業展開を目指してまいります。

② M&A やアライアンスによる新規事業開拓や事業領域の拡大

売上・利益の拡大や事業展開の加速化を目的として、M&A やアライアンスを活用することで、新規事業の開拓や事業領域の拡大に取り組んでまいります。この取り組みにあたっては、投資先や提携先の事業展開の見通しや当社グループ企業とのシナジー効果に関する検討を十分行うとともに、財務基盤の強化の方針とのバランスを考慮しながら進めてまいります。

③ インターネット関連、通信事業の収益力の拡大

市場のニーズに応じた新規事業や新たなサービスを提供することにより成長力の向上を図ります。通信事業においては、通信技術を活用した新規のソリューションの提供により更なる収益力の拡大に努めます。

④ 調剤薬局及びその周辺事業の機能強化

患者さまが安心して医療・調剤を受けることができるよう、かかりつけ薬局としての患者さまのニーズに沿った調剤薬局の運営を引き続き目指してまいります。また、DX(デジタル・トランスフォーメーション)、メタバース(インターネット上の仮想空間)を活用して「オンライン服薬指導」を進めるなど、当社グループでインターネット関連事業や通信事業を行っている強みを活かすことで、患者さまの更なる利便性の向上を目指してまいります。

(2) 投資対象として選択される会社となるための取り組み

株主や投資家の皆様の信頼を獲得し、投資対象として選択される会社となるために次のような取り組みを進めてまいります。

① 内部統制やリスク管理体制の強化

内部統制やリスク管理体制の強化のため、昨年 10 月より次のような施策に取り組んでおります

- a) 属人的事業遂行体制の是正
- b) 当社取締役会における子会社管理に関するリスク評価及び監督機能の強化
- c) 役職員のコンプライアンス意識の向上

今後は、これらの内部統制やリスク管理体制の強化を図るための施策の実行を継続するとともに、これら以外で内部統制やリスク管理体制をさらに強化する施策やコーポレートガバナナンスの向上についても取り組んでまいります。

② IR活動の強化

当社グループの強みや成長戦略について、株主や投資家の皆さまの理解促進を図るとともに、企業イメージや知名度の向上を進めるために、次のようにIR活動の強化・充実に取り組んでまいります。

- a) 決算短信、決算説明資料の記述の一層の充実
- b) 当社ホームページにおけるIRやPRに関するコンテンツの充実
- c) 個人投資家の皆さまへの情報提供機会を増やすための新たな施策

以上